

平成26年10月22日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

庁舎再編整備特別委員会
委員長 森山英敏

庁舎再編整備特別委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 庁舎再編整備について
(2) その他

- 2 調査の経過 10月22日委員会を開催し、上記事件について協議した。
執行部より、魚沼市庁舎再編基本構想(案)について、魚沼市庁舎再編スケジュール(案)について説明を受け、質疑を行った。
その後、休憩中に自由討議として委員間の意見交換を行った。

庁舎再編整備特別委員会会議録

1 調査事件

(1) 庁舎再編整備について

(2) その他

2 日 時 平成26年10月22日 午前10時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 岩井富士夫、佐藤敏雄、岡部計夫、星吉寛、下村浩延、森山英敏、大屋角政
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 市長、副市長、企画政策課長、企画政策室長

7 書記 小幡議会事務局長、中川主任

8 経 過

開 会 (9:59)

森山委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから庁舎再編整備特別委員会を開会します。9月に市長から新庁舎建設という方針が示されました。その後できるだけ早く委員会を開き調査をしたいと思っていました。ようやくお手元に配布されています「魚沼市庁舎再編基本構想(案)」が示されましたので、これをきょう皆さんから議論していただきたいと思っています。

(1) 庁舎再編整備について

森山委員長 日程第1、庁舎再編整備についてを議題とします。執行部から資料が提出されておりますので、説明を求めます。

大平市長 企画政策課長から説明させますので、よろしくをお願いします。

酒井政策課長 (資料「魚沼市庁舎再編基本構想(案)」について説明)

中川副市長 (資料「魚沼市庁舎再編スケジュール(案)」について説明)

森山委員長 説明が終わりました。資料がきょう配布ということでなかなか質疑は難しいと思いますが、魚沼市庁舎再編基本構想(案)と魚沼市庁舎再編スケジュール(案)について質疑はありませんか。

星委員 先ほど副市長から説明がありましたが、場所の選定はいつ頃までをめどに位置の決

定をされるか、考えがありましたら教えてください。

中川副市長 27年度予算との関係がございまして、あまり性急に進められないなという感じはいたしますけども、エリアの選定については構想の中で書かれておりますので、建設のエリアについてはある程度特定をした中で、そのエリアの中で開発候補地が3カ所なのか4カ所なのかわかりませんが、絞り込みをまずしていきたいと思っています。最終的に1カ所に特定をするという作業が場合によっては27年度にずれこむ可能性があるということを見ると、少なくとも27年度当初予算に用地交渉費をなかなかあげられないのではないかなという感じはしています。

岡部委員 この計画を見ると合併特例債、新市建設計画が5年延びたということで特例債が使えるようになったと、今まで議論を重ねてきた中でやっぱり新庁舎が必要だというふうな形になってきたと思うんですけども、これから作る作らないを含めて市民に説明をする上で建設費が平成25年12月にこの計画の中では算出根拠として36億8,000万円という数字が出てきているんですけども、これからどうしなければならないというのはわかるんですけど、それに対する費用対効果、お金の面が少しここに示されていかないと市民からの理解も得られないんじゃないかと思うんですけども、その辺の建設費に対する数字的なものはいつ頃出てくるのでしょうか。

酒井企画政策課長 先ほどお話ししましたようにここはあくまでもそういうことは記載せずに、次の基本計画の中で明らかにしておくということにさせていただきます。まず構想の考え方がこれでいいか、ということを確認してから次に規模等含めて正式なものでしていきたいとことであります。お金が多い少ないは次の段階で協議していくという考えでありますので、いまはお示ししておりません。

岡部委員 今までの位置決定を見てくると段階的に踏んでるのはいいんですけども、段々段々せっぱ詰まってきてからそういう問題が出てきていいか悪いかという判断に迫られているような気がする。基本構想と同時にもう一つの対極にある予算とかお金の件も同時に進行した中でいいか悪いかを判断していかないと私はだめなような気がする。あわせて提示していただければと思うんですけど、その辺の考え方はいかがでしょうか。

中川副市長 今ほど岡部委員からせっぱ詰まったという話がございましたけども、基本的には市長から発言がありましたように、きょうお示した構想の冒頭にも書かれておりますように、庁舎再編が優先をしないということが前提でやってきたわけです。タイミングとすると新市建設計画の5カ年延長というところもございましたけども、基本的には魚沼市が行政改革等で抱えている課題を優先して取り組んできた。いよいよ庁舎建設についての議論を深めていく必要があるのではないかとということが前提でありますので、その辺はぜひご理解をいただきたいと思います。建設費については当然今ほど岡部委員からお話のとおり私どももこれからの財政計画等考える時に、重要な一つのファクターだというふうに思っています。ただ庁舎の機能として構想の中でも触れられていますけども、防災の拠点としての機能が3.11以降非常に大きくクローズアップされているというようなこともございますので、市民が望む庁舎というのはどういう形なのかということが、議会と市民の皆さん方と一緒に議論しながらつくりあげないと先行するというのはなかなか難しいのではないかと思います。

岡部委員 ことしの春に議会報告会を6地区でやった中で、ある地域に行つてこの庁舎の間

題も我々もどうですかと言ったら、市長は庁舎をつくらないということで当選したんだから庁舎をどうするかなんて論外だ、というふうな意見が市民からありました。そうすると、庁舎は新しくつくらなくていいんだと思っている市民もいっぱいいるわけです。しかしながら災害とか防災拠点としてとか分庁舎方式ではまずいから一本化が必要だとか、そういう行政的な部分で必要性が出てきたわけですね。それを今度市民の皆さんに説得していく、理解していただくためには構想的なことと同時にお金の問題も含めて、どういう角度から見ても大丈夫ですからこういう形で進めさせていただきたい、というような丁寧な市民に対する説明が必要なんじゃないかと思ってるもので、先ほどから話をしているんですけども、その辺のことに対する丁寧な説明の中身をどのように考えていますか。

中川副市長　　今ほどスケジュールでもお話ししたとおり、各レベルごとに市民への丁寧な説明をするということで、最初の構想レベルで終わりということではないとの説明させていただきました。内容的にはこれから特別委員会なり議会の皆さん方と相談しながら、何がどういった形が丁寧な説明なのかというところも含めて議論させていただきたいと思っています。

岡部委員　　丁寧な説明の中に、平成25年度決算の報告では職員数が499人、臨時職員395人で894人の職員がいるわけですが、この構想案の資料では337人ということですが落としこみは大丈夫なんですか。正職員と臨時職員のバランスの落としこみは大丈夫ですか。

酒井企画政策課長　　これにつきましてはあくまでも本庁舎に入る職員数ということで、全ての職員がこの庁舎に入る想定はしておりません。ここに書いてあるとおりに非常勤につきましては54人と想定している中で算出した数字であります。

岡部委員　　私は基本的にこれを反対するとかそういう意味でなくて、ぜひスムーズに成功裏に進めていただきたいという思いが根底にあって、できるだけ市民に丁寧な説明をして、スムーズにいったほしいというのが願意にあって話をしていることなんでしっかりやっていただきたいと思します。今の周辺エリアということですが、そこに今現在、市有地みたいな所はあるんでしょうか。

中川副市長　　小出市街地周辺エリアという言葉で表記させていただいておりますので、委員それぞれの考え方でそのエリアを特定するというのはあると思います。どこまで含まれるのか、という基本的な概念は言葉で示させていただきましたけれども、今後地図上にそのエリアというのをこの場で特定をしていく作業も必要かなと思ってます。ですので、構想の中でエリアの図面を用意しておりませんが、今後はエリアの図面の中に特定していくという作業も含めてお願いしたいなというふうに思っています。その時に委員の皆さん方の思いをお聞かせいただければ大変ありがたいと思っています。

岩井委員　　岡部委員に関連するんですが基本構想(案)がスケジュール(案)でいくと9月いっぱい終わってますけども、その下の構想レベル協議の中から市民説明会というのが入ってまして、市民説明会をもう少し早い時期にきちんと提示しないと市民からの意見というのはけっこう私の聞く中では相当いろんな意見が実はありまして、まだ市長は新しい庁舎をつくらないでやってきたんじゃないかという話がだいぶありますので、この市民説明会を早目に丁寧にやらないと相当な批判がでるんじゃないかと思しますので、できれば早目に組み入れてもらいたいと思います。

大平市長　　まだ具体的に位置という話はないんですけど、これから市民説明会を私の方から

まずは最初にさせていただきたいということで考えております。できれば年内に一度説明会といいますか、私自身がここに至るまでの話も含めまして皆さんに説明させていただきたいと思っています。

佐藤委員　私が委員になってずっと考えていたような内容が列記されておまして、ぜひこの方向で進めさせていただきたいと思っておりますが、9ページの新たな庁舎の建設に向けて基本理念が載っております。その通りだと思うんですが、(4)で人や環境にやさしい庁舎とぜひ一つこれもお願いしたいと思いますが、省エネということで雪を利用した特にこういった地域ですのもっと具体的にと考えてますし、もう一つは地元産材の利用ということで地元の木を活用して、魚沼地域というものを表に出していただきたい。こんなこともこの中に入れていただければかえっていいんじゃないかなと思います。

酒井企画政策課長　ご意見について検討の材料にさせていただきます。

森山委員長　しばらくの間、休憩します。

休　　憩（10：49）

再　　開（10：59）

森山委員長　休憩を解き、会議を再開します。引き続き魚沼市庁舎再編基本構想(案)についての質疑を行います。資料に基づいて、1ページ目はじめについて質疑はありませんか。（なし）次に第1章庁舎の現状と課題について質疑はありませんか。この部分については当委員会で議論してきた部分がありますので、おおむね反映されてるとは思いますが何かありますか。（なし）次に第2章庁舎再編の方向について質疑はありませんか。

佐藤委員　7ページに防災拠点とありますが、私もこれが1番大事だと思います。昨年国交省の危機管理センターを見てきましたが、パソコンで新潟の魚沼地区を定点観測で一発で見られると、少なくともそういうところと直接ラインで結んで魚沼市の新しい拠点については定点観測ができるとか、消防庁舎と直接結んですぐに機能がわかって対応できると、そういったことを考えられていますか。

酒井企画政策課長　現在の構想段階ではそこまで考えて規模を要するところまでしておりません。これからの計画の中では当然含めた中で検討して、基本計画の中の機能面積等に反映することになると思います。

岩井委員　7ページの都市機能形成の視点の中に、都市基盤の形成上都市機能としての市政運営の拠点として、とありますがどういう観点なのか詳しく教えてください。

酒井企画政策課長　現在都市計画マスタープランもあるわけですが、それとの整合性を図る中でさらに地方自治法第4条第2項の利便性を含めた中で考えていくと、まちづくりの観点からもといった意味で都市機能ということでばらばらに施設があるのではなく、ある程度機能が集中した考え方、コンパクトシティの考え方を含める中ではこんな感じで記載させていただきました。

岡部委員　これから議会報告会があるので、位置の評価の4番目守門・入広瀬庁舎については本庁舎の位置としての評価を行わず支所又は出張所と書いてあるんですけど、この辺の取り扱いについて具体的な構想を聞かせてください。

酒井企画政策課長　本庁舎を一元化一本化するという話で進めております。本庁舎があります。今、北部振興事務所が守門庁舎にあるわけですが、例えて言いますとそこに支所機能を持たせて、人員を配置してやっていきたいというイメージです。そこでするかはまだこれからになりますけども、そういった意味で本庁舎としては守門・入広瀬にはしない、そこには支所機能ということで別に機能を持たせますという意味で記載したものです。

岡部委員　そこには職員を何人か配置するという考え方でよろしいですか。

酒井企画政策課長　当然職員を配置して、7ページの下にもありますけども5で支所又は出張所これについては市町村長の権限に属する事務を分掌させるためということになりますので、職員を配置して機能するようにする計画であります。

森山委員長　次に第3章新たな庁舎の建設に向けてについて質疑はありませんか。(なし)
次に第4章現庁舎の活用方針について質疑はありませんか。

星委員　現庁舎には原則的には窓口は設けるという考えでいいですか。

酒井企画政策課長　今の市民センター機能については、庁舎の中に設けるか民間で設けるかは決まっていますが、利便性が落ちないように考えています。

星委員　65歳以上が3人に1人と高齢化が進みますし、市民の利便性を考えるには、今、課長が言いましたように例えば守門であれば郵便局・農協いろいろな関係の一つに集めて市民の利便性を高めるというような考え方も検討に値するんじゃないかなと思うんですがいかがですか。

中川副市長　構想(案)の中の庁舎の現状と課題に市民サービスにおける課題というようなことで、市民にとって身近な業務については歩いていける距離でサービスを受用ということが書かれています。必ずしも現庁舎を使う、現庁舎では遠いというようなこともあるかもわかりません。例え話で大変恐縮ですけども、J Aの出張所とかありますし郵便局あるいはコンビニというのがあります。そういったところで行政サービスを提供できるのであればそうしたことも視野に入れていきたいということで、既存の庁舎に限定したということではないというふうに思っています。

岩井委員　候補地の選定の件なんですけど、ちまたでささやかれていることは旧小出町、旧広神町

、旧堀之内町その辺で便のいいところというような考え方、だいたいの構想というのは持っていますでしょうか。いないでしょうか。

酒井企画政策課長　今はエリアということで小出市街地を中心とするエリアで1キロから1.5キロ。そういった意味でいきますと、堀之内というかなりのエリアになりますが、まだ具体的に考えてはおりません。

岩井委員　例えば旧小出町には高速のインターがあります。そういったことも考慮に入れたりとか考えはいかがでしょうか。

酒井企画政策課長　今はエリアということで示しております。その次に今度はエリアの中で候補地がここにある、ここにもある、というようなことで進めていくことになると思いますので、その段階で話に出れば候補地になるかもしれませんし、ならないかもしれません。これからの話にさせていただきたいと思います。

岩井委員　候補地の数はどの程度考えていますか。

酒井企画政策課長　それもこれからの話になります。協議しながら進めていくことになりま

すので、5つになる場合もありますでしょうし、まだそこまで考えておりません。

中川副市長 補足して説明させていただきます。考え方として理解いただきたいところがあるんですけども、エリアを特定する、それはかなり広範囲の話でありますのでその中からピンポイントで候補地を選んでいくということは、先ほど岡部委員からも質問がありましたけども要はそこに例えば市有地がある、あるいは周辺との環境の問題とかいろんな問題があると思います。だからそれはこれから委員会の中でそれぞれ候補地を選定するに当たっての重要な要素を出してもらって、それが具備されてるところが候補地となりうるということですので最初から何カ所ということではないと思います。場合によっては1カ所なのかもわかりませんし2カ所なのかもわかりませんが、そうした条件がある程度整っているところを選ばれていけば市民にとっても納得のいく形になるのかなというふうに思っています。

森山委員長 スケジュール(案)については質疑ありませんか。(なし) ないようですのでおおむね皆さんから構想(案)、スケジュール(案)は了解できるレベルだというような形にさせていただきます。それでは、しばらくの間休憩し、委員間の自由討議とします。

休 憩 (11:15)

休憩中に自由討議

再 開 (11:24)

森山委員長 休憩を解き、会議を再開します。

本日の件については、10月28日に全員協議会で、全議員に説明することを当委員会として了承することによろしいか。(異議なし) 日程第1については、引き続き調査研究していくこととし、本日は以上としたいと思います。

(2) その他

森山委員長 日程第2、その他についてを議題とします。その他皆さんの中でご意見協議事項等はありませんか。

岩井委員 恐らく今回の議会報告会で、この庁舎の問題は相当議論が出るものと思います。

その辺を踏まえてしっかりとどういう形で説明するのかを議会の方でもまとめておかないと大変だと思いますので、その辺をよろしく願います。

森山委員長 しばらくの間、休憩します。

休 憩 (11:25)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (11:26)

森山委員長　休憩を解き、会議を再開します。ほかにご意見等ありませんか。(なし) 本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の庁舎再編整備特別委員会は、これで閉会します。

閉　　会（11：27）